

ヤマハニュース 11

YAMAHA NEWS No. 161 NOVEMBER 1976

特集：増える広がるバイク需要層
ありがとう！ヤマハ原付免許教室



新発売 ヤマハビジネスYB125

霜月しもつきの静岡



青い海を背景に、なだらかな稜線をたどって広がる茶畑、明るい日ざしの中に色づき始めた実をのけるみかん畑は、温暖な気候、豊かな地味に恵まれた静岡の象徴です。この地はまた、京浜と中京の両経済圏の中間に位置し、多くの産業並びに観光の重要ポイントともなっているのです。

その明るい気候風土を反映して、市場イメージびつたりチャビイやポビイの普及が著しい静岡も、原付免許取得者が激増。とりわけ女性層の伸長は目を見張るものがあります。おりしも、急増する女性客に好評のチャビイ、新機種も増えて一段と充実したポビイ等の拡販のための秋の免許教室キャンペーンも展開されました。このタイムリーな企画に、販売店さんの意欲も上々、秋から冬にかけての商戦をより一層実りあるものとし、本年度の有終の美を飾るべく大いにはりきっています。

ヤマハ静岡(株)

営業部長 内田隆也

表紙のことば

本誌前号でも既報のように、ホワイトポビイ“LB50III-H”と同時発売されたのが、遠心クラッチ付“LB50III-C”。クラッチ操作なしでスムーズな発進、停止ができ、ギヤ・チェンジもOKという文字通り初心者、中高年者に運転のしやすさでアピールできるポビイの有力機種の登場です。オートマチックなみの運転のしやすさに加えて、ハンドクラッチ車なみの機敏な走りは、さらに四輪ユーザーの心をも捕えることは間違いなく、日曜日のひとときにカメラや釣りをこよなく愛する人びとの間でも便利な足として活躍することでしょう。

層需要バイクの広がる増える



好評！

ヤマハ原付免許教室

『ヤマハ秋の免許教室』キャンペーンの柱として九月二十三日、十月十一日の二回にわたり全国一斉に開催された『ヤマハ秋の免許教室デー』は、各地で大盛況。

以下にご紹介する教室ルポやチャピイ/ポビイのツーリング使用

例にも見られるように、お客さまの評判もひとときわ高く、増えつづけるバイク需要の拡大に拍車をかけています。

さて、ご商売は急ピッチで年末の商戦へ、キャンペーンの成果をフルに活かして一年のご商売を大きくしめくくつてください。

増える広がるバイク需要層

この成果を年末商戦に活かそう

年末この時期に大いに売ろう

年末、あわただしい年の瀬はまた、サラリマン家庭では待望のボーナスが話題となりクリスマスや新しい年への準備もあつて、人びとの消費活動、購意欲は一年でも最高潮に達する時です。

- 年末謝恩セール
 - ボーナスセール
 - クリスマスプレゼント・セール
- など、すでに十一月下旬からスタートを切

る。年末商戦に、お店でも商圏の特性をいかしたさまざまな販促プランをご計画の中のとしましょう。

「春のヤマハまつり」からつづいた一連のヤマハキャンペーンの地道な努力が、着実に実ってくるのもこの時期。特にその余韻も大きな『ヤマハ秋の免許教室』キャンペーンの成果を大いに活かした効果的なセールで、この売れる時期に、大いにご拡売ください。

年末商戦に活かすこの成果

具体的な年末商戦の展開の際に特にご留意

いただきたいのは、全国一斉「免許教室デー」

の果たした大きな意義です。つまり、多くの一

般消費者に『ヤマハ原付免許教室』の存在を



知らせ、商圏内にお店の存在を強力にアピールしたことです。したがって、高まっているお店の知名度をフルに活用した年末商戦の展開がより効果を上げやすい時期でもあります。具体的な年末商戦のポイントとしては、まず第一に代替需要の促進が考えられます。

「新しい年を、新しいバイクで」というお客さまは、業務使用車を中心に、この時期に例年目立って増えています。こうしたお客さまには、ユーザーカードをもとに買いやすいヤマハらくらくクレジット[®]のご案内などもあわせてDM作戦が効果的。

また、冬場に入りバイクの使用頻度が極端に少なくなるお客さまには、それに応じた安

全点検サービスを実施して、疎遠になりがちな年末年始のお客さまとの連携をより密接に保つことも大切です。

もちろん、DMや折り込みチラシなどによるお店のセールのご案内によって来店されたお客さまには、クレジットのご紹介や、デモカーによる試乗など、あわただしい時期にもキメ細かなご商売の展開もお忘れなく。

また、「年末」はあらゆる業種の店頭が華やかに飾られて、誘店に余念がありません。こうした中で当然、お店の店頭、店内装飾も周囲の明るさに埋もれてしまうことのないように、明るく、さわやかに整理し、飾りたいものです。

冬場のご商売を支える

もうひとつのポイント「免許教室」継続開催

もちろん「ヤマハ秋の免許教室」キャンペーンの徹底フォローも、大きな年末商戦のポイントです。

二度にわたる全国一斉「免許教室デー」をはじめ期間中に開催の免許教室受講生に対するフォローは完全ですか？

受講者管理カードの再チェックを行なって合格された方への売込み、不合格となった方への再講習など、徹底したフォローで確実に実販に結びつけてください。

年末年始の休暇を利用しての免許取得をすすめるのも一法ですし、雪国など動きの鈍った市場にあつては、マン・ツー・マンで免許教室の徹底を図ることも考えられます。冬場

のこうした地道な努力が、来春のご商売にどういう効果をもたらすかはご説明するまでもないことでしょう。

「忙しい年末商戦に免許教室どころではない」などというのではなく、長い目で原付免許教室の継続をお願いします。

バイクの需要層が50cc車を中心としてますます大きく広がりにつつあるいま、こうしたキャンペーンを通じて市場動向の流れや市場環境の変化に即応した実力を身につけることはとりもなおさずお店の将来に対して重要な布石を敷くことでもあるのです。こうしたことから、免許教室のあるお店としての定着化につとめることはきわめて重要です。

年末売出し

ボーナスセール

恒例
冬の特別★セール

ありがとう！ ヤマハ原付免許教室

免許取得に集まる熱意



会場の受付にもムード作りが

昨年と比較べ約30%の伸びを見せている原付免許試験の受験者数、まさに「増える広がるバイク需要層」といったところです。

こうした情勢を背景にしてタイミングよく「ヤマハ秋の免許教室」が9、10月の2ヵ月にわたって全国的な規模で行なわれ、販売店のみならずのご協力のもとに大成功を収めたのです。

特に、9月23日と10月11日に行われた「全国一斉、ヤマハ秋の免許教室デー」では、各会場とも予想をはるかに上回る受講生が来場、いずれの教室も「バイクに乗りたい」という人達の熱気にあふれていました。

ここで注目されるのは、これまで合同免許教室を開催したことがない所、あるいは合同開催が不向きだとされていた都市部においても、驚く程の受講者が見られたことです。

例えば、あの17号台風にみまわれた四国の高知市では、災害の復興も完全でない9月23日、初めての試みとして合同教室が開催されましたが、50名近くが受講、台風災害がなければ一〇〇人は来ただろう、という程です。

一方、このキャンペーンに合わせてお店独自の教室を開催された販売店さんでも、「免許とりどき」のムードは上々、普段にも増してお客さんの来店で、実感としてバイク需要層の増大ぶりが感じられたものです。

第一回目の「全国一斉、秋のヤマハ免許教室」が行なわれた9月23日、編集部は東京都葛飾区の城東営業所における合同免許教室に直行しました。そこで感じられたのは、受講された人々の免許取得への、さらにはバイク

★免許取りどき★

免許教室



教室の準備づくりにも積極的な販売店さん



▲ 講習が始まる前に販売店さんのアドバイスを受ける受講生

◀ 熱気あふれる講習、講師の声にも力が入る

に乗ることへの並々ならぬ熱意でした。そんな中で印象的だったのは、ある受講者のいった「今度のキャンペーンでヤマハの免許教室を初めて知ったんだけど、もっと早く知っていたらなあ」という言葉でした。受講生ばかりでなく、お客さんを会場まで送って来た販売店のみなさんの熱意もなかなかのもので、会場の準備に積極的に参加する姿も見られたものです。こうした人々の免許教室における熱意のほどをカメラで追ってみました。

ありがとう！ ヤマハ原付免許教室



「原付免許。を我がものに。年代も職業も様々な受講者のみなさんは一様に講師の説明に熱心な耳を傾け、メモをとるペンを走らせる…。教室に持ち込まれたポビィやRD50による乗車姿勢やメカニズムの講習にも一段と熱がこもる。

「お陰さまで今日の受講で勉強の仕方がわかりました。それに、交通法規を知ることは、わたくしたち免許取得希望者だけでなく、すべての人々、歩行者にとっても必要なことなんですね…」とはある受講者の受講後の感想でした。



出来ますか？ 誤りやすい試験問題

●受験者に適切なアドバイスを●

この本文を読む前に、まず右に上げた問題をやってみてください。

いかがですか？下の解答と照らし合わせてどの位出来たでしょうか。もちろん日頃からお店で免許教室を開いているお店の方は「なんだ、こんな問題か」と思われることでしょう。

しかし、初めて運転免許を取ろうとする人にとっては間違いやすい問題がこの中にはたくさんあります。そうした問題を参考にしながら、受講生にどんな注意をしたら良いかを考えてみましょう。

●長い文章の問題：最近の傾向として、ひとつの問題が長くなっていることがあります。例えば6番と13番のように。30分で50問、平均すると1問あたり36秒で答えなければならない現状では受験者にとって、長い文章の問題は極めて不利です。このような時に必要となるのが文章の早い読解力です。その力をつけるには、このような問題を数多く経験することが大切になってきます。

●複雑化している問題：これは長い文章とも関係していますが、5番と10番のように、ひとつの問題が非常に複雑になっていて、うっかり読むと何を書いてあるのか分からない場合もあります。これは理解力を試される問題なので、テキストを充分によく読んで理解し、応用力を身につけなければなりません。そのことはとりもなおさず、自分自身の身の安全にもつながることになるのですから。

●物理学に弱い女性：4番、9番、15番、20番のように車のメカニズムや、物の動くしくみのような物理学の問題は女性はやはり苦手です。慣性、摩擦力、遠心力……といった言葉を聞いただけで“お手上げ”といった人も。このような人には実際のバイクを使った教え方が有効です。実際に触わせたり、乗らせたりして、目で見、手で確かめ、体で理解させることが大切になってきます。

●信号と標識の関係：信号の赤、青、黄と、道路標識の色は無関係ではありません。標識の場合も、危険や禁止を示すものは大むね赤色を使用しています。また踏切り、落石のように注意をうながすものは信号と同じく黄色。一方通行や優先道路のように通行可能や指示を表わす時は青色が使われています。こうした区別の仕方をアドバイスするのも初心者には覚えやすく、理解しやすいものです。

原付免許試験模擬テスト問題

1. 図1の標識のある交差点では、信号の色に関係なく普通自動車、原動機付自転車は左折できる。
2. たとえ交通規則を守っていても、自分本位に無理な運転をするとみんなに危険や迷惑をかけるだけでなく、自分自身も危険である。
3. 夜間でも街路灯がついていて良く見えればライトは不要である。
4. 走行中にハンドルを右にきくと車も右に倒れようとする。
5. 歩行者の側方を通過する時は、歩行者との間に1m以上の間隔を保つが徐行しなればならないが、自転車の側方を通過する時はとくにそのような注意を払う必要はない。
6. 交通整理の行なわれていない交差点で、交差する道路が優先道路であるときや幅が明らかに広い場合は、その交差点に入ろうとするときには徐行しなければならない。
7. 図2の標識のあるところでは、自転車や原動機付自転車を追い越すために進路を変えたり、その横を通りすぎたりしてはならない。
8. 二輪車の前輪ブレーキは少し甘い方が、バランスをとる上でも好ましい。
9. タイヤがすり減っているときは、路面との接地面が多くなるため、摩擦力が大きくなり、停止路離が短くなる。
10. 横断歩道に近づいたとき、歩行者が横断しているときはその手前で停止して歩行者に道を譲らなければならないが、歩行者が横断しようとしているときはとくに道を譲る必要はなく、徐行して通過してよい。
11. 交差点や交差点の付近以外を通行中に緊急自動車近づいて来たときは、道路の左側に寄り一時停止しなければならない。
12. 二輪車を押して歩くときは、歩道や横断歩道を通行してもよい。
13. 信号機の信号は、信号が赤になると同時に前方の信号が青に切り変わるの、信号待ちの場合は、速やかに発進するために、前方の信号よりもむしろ横の信号をよく見るようにすることが大切である。
14. 夜間は視界がせまくなるので、視線は遠くへ向けず出来るだけ近くを見るようにする。
15. 走行中の車は、クラッチを切っても走り続けようとする慣性力が強く働くためにすぐには止まらない。
16. 見通しの悪い交差点やまがりかどでは、警告音を鳴らして通行した方がよい。
17. 左折や右折などの合図は、必ず方向指示器で行うべきであり、手による合図は片手運転となり危険であるから、どのような場合でも手による合図は行なうべきではない。
18. 図3の標識は“前方に踏切りあり”を意味している。
19. 正面の信号が青のとき、原動機付自転車は自転車と同じく直進と左折は出来るが、右折は出来ない。
20. カーブを走行中、車に働く遠心力は同じ速度であるならば、カーブの半径が小さいほど大きくなる。

図1



図2



図3





“おう！ ボビイ”
“おう！ チャヤピイ”

秋のさわやかツーリング大会

「秋のヤマハ免許教室」キャンペーン期間中の10月3日、高知県安芸市にある「安芸スバル」さん（田野岡滋夫社長）は、ボビイとチャヤピイによるツーリング大会を行いました。参加したバイクは28台、先導役を務めた2台のGR50の他は、みなボビイとチャヤピイばかり。

この日は前日の曇り空とは打って変わって朝からカラリとした秋晴れに恵まれ、若者から60才の年輩の男性まで、女性12人、男性16人のバイク仲間がまさしく「バイク乗りどき」を満喫したものでした。

この日の目的地は、室戸岬に近い羽根岬。安芸市から約30kmの所で、ミニバイクのワンデー・ツーリングには最も手頃なコース。出発前の仕業点検後、それぞれの愛車で安芸市をスタートしたのは午前10時。途中でのなにかのトラブルに備えて、サービスマンがトラックにガソリンと工具をつんで最後尾からついて行きましたが、行き帰りともまったくのノントラブル。

さわやかな秋空のもと、快適なツーリングをつづけて約1時間、目的地の羽根岬に到着です。ここではちょっとしたプレゼントが用

意されていきました。プジョー・NS22などの豪華商品の当たる宝さがしです。老いも若きもみな童心に帰り、宝さがしや磯遊びに興じたものです。

この日参加した人の中には、もちろん安芸スバルさんの免許教室を受講したり、免許の手ほどきを受けた人もたくさん。「今日は初めてのツーリングでしたが、こんなに楽しいものとは思いませんでした。本当に免許教室のおかげです。今度もぜひツーリングに連れてってもらいたい」という声も聞かれました。

「こういう声はやはりうれしいですね」と言う田野岡社長は、このツーリングの目的を「うちではミニバイク運動会はしたことがあるんですが、ツーリングは初めてです。女性や年輩の方にも走る楽しさを味わってもらいたかったのでツーリングを企画したわけです。それにボビイ、チャヤピイのデモンストレーションにも良いと思いました」と話しています。バイクユーザーがこれからも増々ふえて行く中で、こうした形でのユーザーサービスはバイクの世界をより広げる意味でも、またお店の知名度を上げる意味でも大切な販促活動のひとつとなるものです。



▲「ワイノ着いたぞ」ありがとう免許教室
◀ツーリングならではの楽しいひと時

▶そろって参加の谷栄一郎さん一家。もちろんこの写真はスナック、お子さまたちは「くるま」で……
◀きれいに一列になって、ポビイが行く、チャビイが行く



高まる意識、効果的な店内装飾

*あつまつたお店の顔、顔、顔

本年六月から八月まで三ヶ月間にわたって行なわれた「店舗スナップコンクール」は、全国各地から多数のご応募をいただき大成功のうちに閉幕。ヤマハ本社における厳正なる審査もこのほど終了し、金賞（三店舗）、銀賞（十店舗）、銅賞（二十店舗）の各受賞店が決まりました。

今回参加の販売店さまは、バイク販売はもちろんですが用品・部品の販売にも力を入れているお店ばかり。いずれの販売店さまも、お店独自のアイデアで、「売れる店舗」への工夫が施され、その積

極性を感じられたものです。ヤマハ用品・部品を豊富に取揃えた明るい店内装飾は、お客さまの心を惹きつけ、売上げ増大の重要なポイントにもなっているだけに、これを機会にさらに効果的な店内装飾をお考えください。

なお、ご参加くださいました販売店さまをはじめ、今回のコンクールにご協力いただいた多くの方々に、誌面をかりて厚くお礼申し上げます。

ヤマハ発動機株式会社・部品部



☆☆☆

金賞

『岩崎誠輪社』

長野県南安曇郡豊科町大字豊科四八九八

岩崎 澄雄社長(29)

「うちはバイクと用品・部品の販売比率は六対四なので、今春の店舗改装も「用品・部品コーナー」にポイントを置いたのが幸いしたのでしよう。最近の傾向として「トータル・ファッション」という感覚が好まれていますが、バイク用品についても同じで、ヘルメットやツナギ・ブーツ等の商品構成は同系色で統一するなど、トータルな感覚を大切にしてお客さまの目を惹くよう心掛けています」



審査は、用品類の陳列量や店舗ツールの活用状況、お店独自のアイデア、店内の整理・整頓……といった七つのポイントをもとに行なわれた





☆☆☆
金賞

『カトーモーターサイクル』

岡山市清輝橋三―三―四

加藤 祐二社長(25)

「今年四月に開業したばかりで、こんな名誉を授かるなんて嬉しい！」の一言に尽きます。店舗設計の段階からなんとしても店内を明るくしたかったので、特に用品・部品の展示方法と照明には気を配ったつもりです。これからは、ただバイクだけを並べたお店よりも、バイクとともに用品・部品が豊富に並べられているお店に人気が集まる時代といえるのではないのでしょうか」

☆☆☆
金賞

『増田サイクル』

東京都世田ヶ谷区世田ヶ谷三―一―一

増田 稔社長(28)

「うちの店が金賞だなんて、夢みたいですね。まあ用品・部品を揃えるようになってからは、新規のお客さまが増えたことは確かなので今後力を入れていきたいと思っています。店舗の改装などはそんなにチョイチョイできるものではないので、日頃から他業界の店舗レイアウトなどを研究して、自分の店ならではのアイデアと工夫で、従来のヘオートバイ販売店からの脱皮が必要でしょう」



〈金賞〉

岩崎誠輪社(長野)
カトーモーターサイクル(岡山)
増田サイクル(東京)

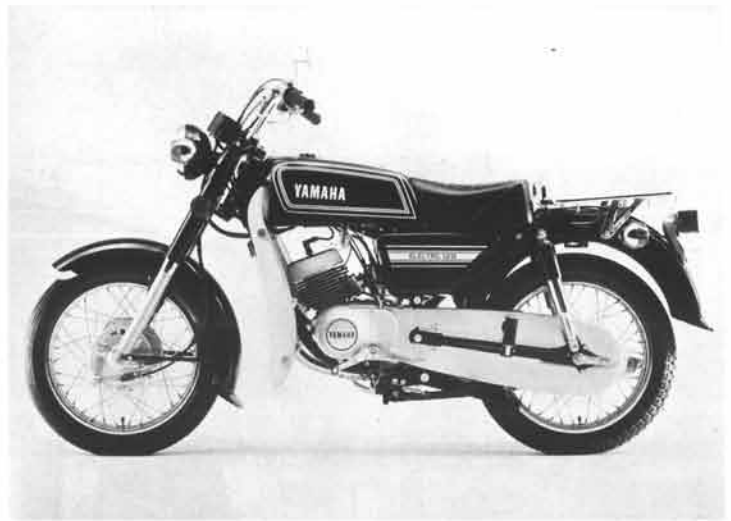
〈銀賞〉

大塚自転車店(岡山)
オートショップ安全(東京)
シバタサイクルオート(京都)
柴又モーターサイクルショップ(東京)
鈴木モータース(東京)
戸山モータース(大阪)
平沢商会(東京)
福田サイクル(熊本)
富士オートサイクル(京都)

〈銅賞〉

アメヤマモーターサイクル(北海道)
植村自転車(奈良)
大月ヤマハ墨田店(東京)
大西商会(大阪)
岡村商会(茨城)
オートショップ翼(千葉)
鍛冶田自転車(奈良)
共栄モータース(大阪)
サイクルショップ島本(兵庫)
佐藤自転車(長野)
清水サイクル(長野)
鈴木モータース(愛知)
スポーツショップユアサ(香川)
竹田自転車(大阪)
多田輪業(香川)
田辺モータース(神奈川)
中央オートサイクル(茨城)
前畑モータース(愛知)
宮川輪業商会(熊本)
山上ホンダ(大阪)

(各賞の店名はアイウエ順)



エンジン、フレームからスタイル、グラフィックに至るまで、すべての面に「スポーティ&デラックス」感覚を盛り込んで開発された「ヤマハビジネスYB125E」が、新発売になりました。

YB125Eで定評の乗りやすさ、耐久性、経済性などをさらに向上させ、総合性能を一段と高めたこの「YB125E」は、確実なベース商品として、お店のご商売を、より大きく広げるものです。お客さまには、以下にご紹介する、充実した内容を特にご説明ください。

●エンジン関係

まず注目いただきたい特長の第一は、新設計のエンジンにあります。

ヤマハ2サイクルシリーズで、その安定した高性能を立証しているトルクインダクション方式を採用したこのYB125Eのエンジンは、シリンダーをアルミ化するなどビジネス車用として新設計されたもの。新採用のアルミシリンダーと相まって、軽量化と冷却効率のアップが計られ、長時間の重荷重使用にもタレのこない、一段と高度な耐久性、信頼性を備えたものとなっています。

また、このエンジンから抽出されたハイパワーを、ビジネス車の使用状況に最も適したものとするために、ギヤレシオも中低速に合わせて設定。駆動力に重点を置き、プライマリキック方式の始動(セルスターター併設)ミッションシフター(YB50/90同タイプ)採用による確実なチェンジ操作と合わせて、どんな頻繁な使用にも、軽快に、スムーズに対応できるものとなっています。

●フレーム関係

もちろん、車体関係も、タフな働き者・Y

Bに合わせ走行安定性、走破性はもとより積載能力を十二分に考慮してダブルクレードル・パイプフレームを採用。リヤタイヤは、3・00-16の従来サイズながら6プライと強度アップを計っています。

また、燃料タンクも、11ℓ容量の大型として長時間の使用にも燃料補給の気づかいを軽減するとともに、ニードリップのしやすさを増して長時間の運転を楽に。また半埋込み式タンクキャップの採用と合わせて安全性を高めました。

さらに、レッグシールドの標準装備、大型ブレーキペダル、前後ブレーキのライニング、摩耗点検窓の設置、キー付オイルタンクなどを備え、大型ビジネス車としての商品性を大きく高めています。

●電装関係

大型スピードメーターには、好評のニユートラルタイプのオイルコーションランプ(残量0・5ℓで点灯)をはじめ、ニュートラル、チャージのインジケータランプを内蔵。

マーカー付ヘッドランプ(35W)、明るい角型テールランプ(GRタイプ)、大型サイドリフレクターなど、働きもののビジネスバイクとしての安全対策も万全です。

ヤマハビジネスYB125主要諸元

全長	1910mm
全巾	750mm
全高	1050mm
シート高	750mm
軸間距離	1240mm
最低地上高	130mm
乾燥重量	109kg
燃費(定地走行テスト値)	45km/ℓ(50km/h)
登坂能力	22°
最小回転半径	2500mm
制動停止距離	7.5m(30km/h)
エンジン	2サイクル・トルクインダクション
気筒数・排気量	単気筒・123cc
内径×行程	56×50mm

圧縮比	6.3 : 1
最高出力	12ps/7500rpm
最大トルク	1.2kg-m/6000rpm
始動方式	セル、プライマリキー併設
点火方式	バッテリー点火
燃料タンク容量	11.0ℓ
オイルタンク容量	1.6ℓ
潤滑方式	ヤマハオートループ
バッテリー容量	12V、10AH
バッテリー形式	GM10-3B
発電機種類	スタータゼネレーター
発電機型式	GS115-51
発電機メーカー	日立製作所
点火プラグ	B-7HS
キャブレター	VM20SH
エアークリーナー	湿式モルトブレン
一次減速(比)	ギヤ(79/19=3.894)
二次減速(比)	チェーン(35/15=2.333)

クラッチ型式	湿式多板
変速機型式	ロータリー式4段
変速比1速	35/11=3.181
変速比2速	29/16=1.812
変速比3速	25/20=1.250
変速比4速	23/23=1.000
フレーム型式	鋼管ダブルクレードル
キャスト	62°30'
トレール	76mm
タイヤサイズ(前)	3.00-16-4PR
タイヤサイズ(後)	3.00-16-6PR
ブレーキ(前・後)	機械式ドラム
懸架緩衝装置(前)	テレスコピックオレオ
懸架緩衝装置(後)	スイングアームオレオ
ヘッドランプ	12V35W/25W
テール/ストップランプ	12V8W/23W
フラッシャーランプ	12V8W
各種パイロットランプ	12V3.4W

総合性能を一段と高めて

新発売

ヤマハビジネス

YB125

- トルクインダクション・エンジン搭載
- ダブルクレードル・パイプフレーム採用
- ニューグラフィックの大型燃料タンク
- オイルコーションランプなど安全性充実





全景。この中からお店に合わせた展示パターンが選定できる



巾高さ、段数、形態……さまざまな組み合わせが可能なアブストラクター(ワゴンタイプ)にガラス板を組み合わせたヘルメット展示棚



スキンバックボード2点セット(4枚)を組み合わせたセラティ用品コーナー



壁面をフルに使用。段数や間隔、色



オイルやスベアパーツもお店を飾る大切な商品。やはり大量展示がポイント



ヤマハ・オリジナルウェアは、専用ウェアハンガーで



Tシャツ類の展示には、手軽なワゴンやハンガーが威力を発揮



壁面にスキンバックボードを付けて使った場合。波形ボードなので店内に奥行きを与える

カラフルに、ファッションブルに彩りを増していく商品。男性、女性を問わず、世代をこえて幅広くひろがっていくお客さま。

最近のこうした傾向に合わせて、グラビアページで紹介の「ヤマハ用品店飾スナップコンクール」結果にみられるように、豊富なヤマハ用品・部品をフルに活用し、「明るいお店、誰でも気軽に立寄れるお店」づくりをめざして工夫をこらした店内装飾を施されてい

るフレンド店さんが目立って増えています。また、先頃ヤマハ発動機株郡山営業所には、こうしたお店のみなさまのモデルケースに、とヤマハ用品・部品ショールームがオープンしました。

スキンバックボード、壁面商品棚、ショーケース、各種ラック、ワゴン……などさまざまな展示用ツールを用いて、お店のデッドスペースをくまなく有効に活かしていただくこ

とを主眼としたこのショールームの展示は、いわば「コンポーネント・システム」で、お店の規模やスペースに合わせて、幾通りもの組み合わせが可能となっています。

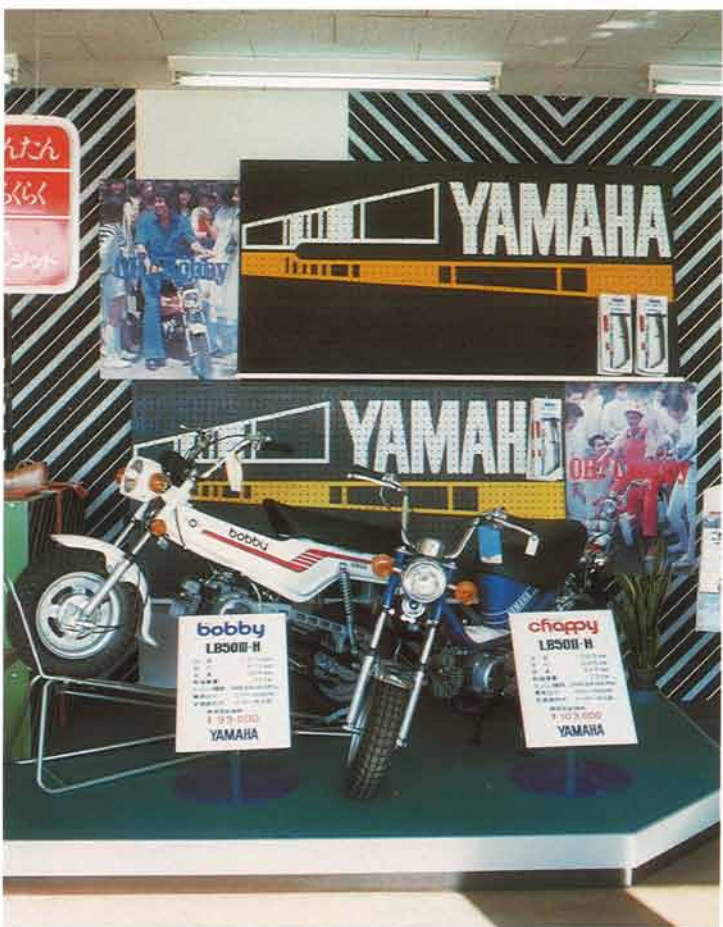
いままで部品庫に眠っていた商品が、お店を明るく彩り、大量展示で大量販売、お店の総合的な業績アップにもつながる明るい店内装飾。このモデルケースをご参考に、お店でもぜひ店内装飾をもう一度ご検討ください。



これが新しい店内装飾に威力を発揮する「スキンバックボード」
お問合わせは担当のセールスマンにどうぞ



カラフルなショールーム



バイクの展示も、ステージ、展示台、スキンバックボード、ステージバックパネルで色調、デザインを統一。店内のポイントをひきしめる



両面陳列棚を使ったチャンピオンコーナーとバッグや小物類コーナー。ワッペン類も楽しいポイントとなって彩りをそえる



床から天井へ通る壁面商品も変更可能

明るい店舗で業績アップ

郡山営業所・ヤマハ用品・部品ショールームに見る効果的な店内装飾

無限の魅力を秘めた女王の国

*イギリス



＊話の応接間 世界の女性

「ユニオン・ジャック」と呼ばれているイギリス国旗は、三つの国旗が組み合わされてできています。つまり、一人の君主の下に三つの国が統治されていることを象徴しており、三つの国旗とはイングランド(白地に赤十字)、スコットランド(青地に白の×型十字)、アイルランド(白地に赤の×型十字)のものです。このことからわかるようにイギリスは正確には「連合王国」(United Kingdom)であって、現在はグレート・ブリテン島といわれる本島の三国——イングランド、ウェールズ、スコットランドと、アイルランド北部の合計四カ国がエリザベス女王の統治下におかれています。

地球儀などでみると驚かされるのがこの国の位置で、ほぼ北緯50度から60度の範囲にあるというから北樺太より北ということになります。当然のことながら気候は不順になりがちで、首都ロンドンなどは「霧の都」という代名詞まで冠せられているほどですが、メキシコ暖流のお



ニューファッションがひしめき合うロンドン市内のオックスフォード・ストリート。二階立てのバスは、イギリスならではの情緒を感じさせる



ロンドン市民の日常生活の一端をのぞかせる露天市

た人たちは一瞬とまどうのが普通ですが、ひとたび心が通じ合えさえすれば、実につき合いのいい人たちがばかりです。外国に長く暮らした日本人は、日本人

かげでそう極端には寒くならないという特色があり穏やかな独特の田園美を形づくっています。かつては「大英帝国に日の没することなし」といわれた輝かしい歴史だけでなく、こうした穏やかな気候と美しい自然がこの国の人びとに余裕をもたせ、「親切心」に代表される国民性をつくり上げているのです。

たとえ無教育のイギリス人でも、頑固で物静かな人が多いためか、イタリアの騒々しさやアメリカの調子のよさに慣れた人たちは一瞬とまど

外国に長く暮らした日本人は、日本人

の多くがあこがれるスイスやドイツやフランスではその国の住民なり生活をあまり誉めないようですが、イギリスではその逆に、大多数の人たちがイギリスを離れた後も、いつまでもこの地への思慕を抱きつづけていることから裏付けられます。

明治以来の日本の「近代化」のモデルとして、また資本主義発展の先進国として今なお世界に君臨するイギリスは、王室・紳士・ロンドン塔、数々の歴史的建造物、スコッチウイスキーなど過去から伝えられた魅力はもちろん、戦後になって加わったモダンなニュータウンやニューファッション、さらには全世界の若者の



エリザベス女王の親しみやすいお人柄は、イギリス女性の典型でもあり、全国民からの信望はあついでいるのです。

象徴として一世を風靡したビートルズに代表されるニューサウンドなど限らない魅力が秘められており、古き良きものを愛するこの国の伝統と相まってよりいっそう重厚さを増しているのです。



ロンドンのデパートはそれぞれに特徴があり、どこへいっても同一メーカーのレディ・メイドが取揃っているということは極めて少ない

●海外事業部販売第一課・丸山利矩氏談
「モーターサイクルの発祥地だけあって、この国のバイクに対する理解はわが国では考えられない程すすんでいます。現在ヤマハ車は500のディーラーで販売されていますが、特にRD250が人気を博しています。というのも、この国では250ccまでは初心者マークをつければ一年間は無免許で乗れるからです。一応18歳以上に限られますが、一年間の乗車実績をつくった上で法規試験を受けさえすれば免許も難なく取得できるわけです」

(写真提供/インベリアル・プレス)
英国政府観光庁

おすすめします

冬のバイク装備品いろいろ



防寒ルック ←

ポリエステル65%、綿35%の丈夫な材質でできており、寒い戸外での作業にも最適。フードはエリの中に内蔵できます。色はブルー。
標準小売価格：13,700円
サイズ：M、L、LL



キルティング ジャンパーCY77

ナイロン100%で気軽に着れる防寒ジャンパー。フードはエリの中から出し入れが自由になっています。赤と紺の2種類。
標準小売価格：6,500円
サイズ：M、L、LL



ウインター ビジネス・ルック

ナイロン100%の軽い素材で動きやすいものながら、防寒性にも優れており、冬期におけるレジャー着や仕事着として活用できます。色は紺とエンジの2種類が揃っています。
標準小売価格：9,800円
サイズ：M、L、LL



ヤマハ ソックス

モトクロス用につくられたこのソックスは膝まで長く、ツーリングにも最適。色も赤、黄、緑、青と四色あり、上端には「ヤマハ」のネームが織み込まれています。
標準小売価格：1,900円



正しいライディングは、まずライダー自身の健康管理から始まります。寒気にあたる冬はとくに防寒に気を使わなければなりません。紅葉前線は徐々に南下し、肌にあたる風にも冷さが一段と感じられるこの頃、ライダーにとっては寒さから身を守るシーズンでもあります。冬の装備品を豊富に取揃えたヤマハ用品を、是非ともこの機にお店のへ用品コーナーにご用意し、お客さまの冬の安全に心掛けてください。



Catalog of Bike Accessories

〈ウェア〉編

ライディングウェアの選定で重要なことは、見かけよりも機能といえます。動きやすく、かさばらず、風をはらまず、バタつかない構造で、保温性に富み、軽く、丈夫で、なおかつ洗濯が容易であれば申し分ありません。そして色はできる

だけ目立つものが最適です。もちろん、ヤマハのオリジナルウェア類は、これらの点を充分考慮してつくられていますので、お客さまに自信をもってお勧めいただけます。なお、好評発売中のチビっ子ウェアも合わせてご用意ください。



ジュニア・キャップ

オーバーオールとヘアでお薦めできるこのキャップは、ハンチングタイプとトレールキャップタイプ、つば付帽子の3種類が揃っています。標準小売価格：500円



ジュニア オーバーオール

元気なちびっ子の遊び着です。軽く、丈夫で、やわらかな肌ざわりのソフト・デニム（テトロン・綿）なので、どんな汚れにも洗濯がいたって簡単なのが特長。色は青、赤、青と白のストライプの3種類。

標準小売価格：3,500円
サイズ：3～8才用のサイズ

スノーモビル ルック

内側はキルティング加工、前のチャックは2重という極めて防寒性の高い商品です。ナイロン100%と軽く、色は鮮やかな赤とブルーの2種類で、いずれも白のストライプが印象的です。

標準小売価格：16,700円
サイズ：M、L、LL



ジュニア ジャンプスーツ

「わんぱくツナギ」の愛称がびったりの子供用ツナギ服。ウエストをゴムギャザーでしめ、ポケットもいっぱい。色も白、青、オレンジ、紺と白のストライプ（デラックス）と豊富。標準小売価格：白2,980円、青・オレンジ3,700円、デラックス3,950円
サイズ：5～16才用の6サイズ

カラー・ツナギ

仕事着としておなじみのツナギですが、より鮮やかなのがこの商品です。赤、黄、黒と三色が揃っており、ライダーたちの間でも人気を集めています。

標準小売価格：5,700円
サイズ：M、L、LL



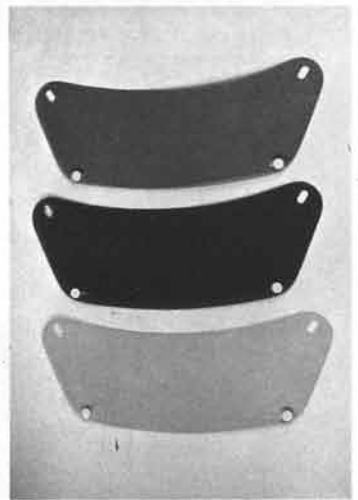
ヤマハヘルメットFS5

軽く、かぶりやすいフルフェイス型の新商品。ふち取りのゴムカバーや、シールドのハネ上げ角度など細部にわたって考慮されています。JIS2 種規格。
標準小売価格：11,000円



ヤマハヘルメットFS100

売りやすい価格のフルフェイス型の普及版。視野が広く、着用のしやすさを考えて、後端部にえぐりをとってあります。色は白、黄、緑、オレンジの4種。
標準小売価格：8,900円
サイズ：S、M、L、XL



FS100用シールド

従来の透明のものに加え、お客さまの好みに合わせて自由にご選んでいただけるよう緑、黄、スモークの3色を追加。
標準小売価格：1,500円



ヤマハ・オートグローブ

白・黒と赤・黒のツートンカラーでデザインされた耐久性抜群の皮製グローブ。手の甲には、夜間反射用の蛍光塗料が塗付されて、安全性も考慮されています。
標準小売価格：4,000円



ヤマハヘルメットCS601

従来のCS600にかわるジェット型の改良タイプ。軽快なスタイルは発売以来人気もの。軽くて強いFRP製。JIS一種規格。
標準小売価格：7,500円

ヤマハヘルメットAS500F

AS500にご覧のような特製スクリーンを装着したニュータイプ。冬場でも曇らない上、メガネをかけている人も全く苦にならず大好評。FRP製の帽体を白のレザーで包んだシャレタデザインは男性にも女性にもピッタリ。もちろん〈S・SG〉マーク付です。
標準小売価格：5,800円



ヤマハ ツーリングブーツ

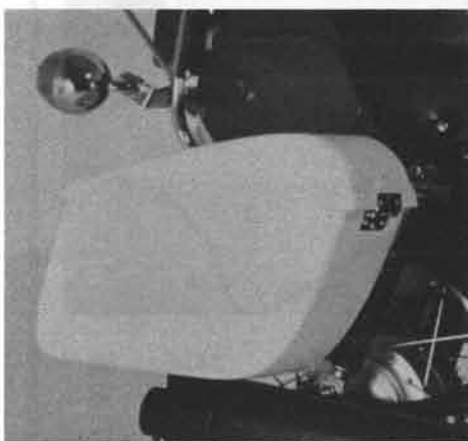
ツーリング用に最適なこの商品は、明るい赤茶色で視認性も最高。やわらかい皮製で軽く長時間はいても疲れことはありません。
標準小売価格：9,900円

Catalog of Bike Accessories

〈用品〉編

ヘルメットやグローブ、ブーツ類は、安全面でも絶対に不可欠な用品だけに使用頻度も多く、したがって強度あるいは耐久性が問題になります。よい商品をお薦めすることが、すなわちお客さまにも喜ばれ、お店の信頼をよりいっそう高

めることにもなるのです。また、ヤマハバイクのラインアップ展示とともに、これら商品の豊富な展示はお店のイメージを明るくする上、新規のお客さまの増大にもつながりますので、とくに展示方法や商品構成にも気を配ってください。

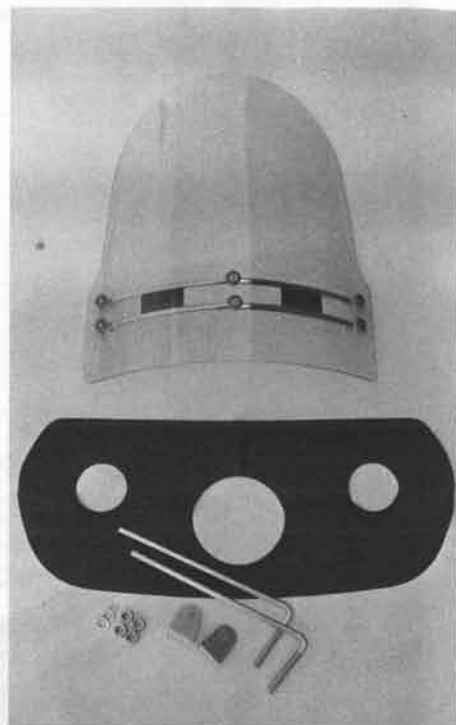


サイド・ボックス ↑

収容能力も大きく、がん丈なプラスチック製のこの商品は、まさにツーリングにピッタリ。このほか改良型も発売されており、ステーの交換だけで多くの機種に取付可能です。
標準小売価格：8,000円

← ウインド・シールド

ADS製のしゃれた布製カバー付で、GT MRにも取付可能です。
標準小売価格：4,500円



メイト用 ウインド・シールド

冬場に心強いウインド・シールドのメイト用です。丸型、角型フラッシャー用に2種類が用意され、いずれもビニール・カバー付です。
標準小売価格：4,200円



GRグローブ

白と黒のコントラストがいかにも若々しい皮製手袋。夜光塗料仕上げで安全性も抜群です。
標準小売価格：4,000円



GRブーツ

若者に人気のワークブーツ。皮製で底はとくにがん丈なつくりとし、足首の部分の動きをスムーズにする工夫が施されています。
標準小売価格：9,800円



セミ・カウリング

GRのカフェレーサー・スタイルを一層ひきたてるセミ・カウリング。冷たい風や雨には威力も大きく、安全にもつながります。
標準小売価格：9,500円

油断大敵！ 来年の商戦はもうはじまっている

セールスに明け、セールスに暮れるわたしたちの毎日、販売店みなさまの商戦に協力し、販売店みなさまに「儲けていただく」ことが、わたしどものつとめであり、喜び、そして生きがいです。販売店さまにより一層、利益をあげていただくためにはどうしたらよいか、最近のわたくしの頭の中にあるものは、もう来年の商戦についてです。そこで、来年の商戦に備え、販売店みなさまにいまお願いしたいことを語らせていただきます。

確実に伸びつづけるヤマハのシエラ

わたくしが担当する弘前市と、その周辺の町村は、交通環境がバイクを必要とすることと、人々が比較的裕福なこともあって、人口に対するバイクの所有率は全国的にみてたいへん高いところですよ。それだけに大型店の数が多いのも特長で、弘前市の「クドウ商会」さんを中心に、販売店さまたちのまとまりも極めてよく、わたくしどもがおすすめる販売政策もたいへんスムーズに浸透するといった状態で、担当するセールスマンとしてはた

いへんありがたいところです。

免許教室は以前から個々のお店で定期的な開催されているお店が多く、今年はコンクールも実施して、より一層成果をあげることができました。また、これと並行して、「町のバイク地図作戦」なるものを展開し、ご商売に役立てていただくこともできました。これは、販売店さまに、一軒一軒が書き込まれている町会の地図を買っていただき、免許教室を受講された方、免許を取得された方、ヤマハバイクを購入された方、そして、すでにバイクを持っている方と、それぞれの家を色分けして塗りつぶしていくもので、商圏におけるバイク需要の流れが一目で解り、今後の訪問販売、代替需要の促進、オビニオンリーダーの発掘などにはたいへん便利な「絵で見る統計資料」といったものです。

また、青森県では原付免許取得者に対する実技講習が義務づけられており、弘前市における講習会では、この講師にあたる指導員の半数、8名はヤマハフレンド店のみならず、講習車には「チャピイ」が使われています。これは新規ユーザー獲得に大きな効果をあげ、バイクにファッション性をもとめるようになった女性客の増加ともあいまって、いままではメイト市場であった郡部まで含めて「チャピイ」の伸び率は予定をはるかに上回るものとなりました。

「ボビー」の「デモカーセール」も、短期間のうちにデモカーが全店に行き渡り、販売



●吉田 頼隆 〔青森営業所・営業課〕

昭和16年生まれ、35才。北海道山越郡八雲町出身。47年、仙台支店に入社し青森営業所に赴任。49年10月、いわき営業所に転任し、昨年の6月、再び青森営業所に戻り、弘前市内、南津軽郡の一部を担当。販売店さまの利益向上につながる企画を次々と打ち出すなど、その活動は意欲的である。

▶弘前市の「クドウ商会」の工藤順己専務（左）と年末セールの検討をする吉田氏。過去3年分の「販売店別、月別販売台数一覧表」を絶えず携帯し、販売店さんとの仕入計画検討に役立っている



店さんではこれを実際におろし、自ら乗られて「ボビー」の優秀な性能を理解され、この商品に惚れ込んで拡販に努めていただけました。こうして、ヤマハバイクのシェアは確実に伸び続けていますが、それぞれのお店の市場背景を考慮して、各販売店さまごとに毎月の重点販売車種をさだめ、クレジットセールをはじめとする各種のセールを次から次と継続して行なってきたことも、シェア・アップの大きな要因です。

来年の繁栄の布石を築く冬場の活動

これから数カ月間は、こちらは雪に絶やさず、バイク需要は停滞期になりますが、順調だからといって、ここでの油断は大敵です。これで今年のご商売が終わったのではなく、来年のより一層の繁栄のため、しっかりと布石を築いておくことが必要で、販売店さまにとつてもわたくしどもにとつてもこれからの重要な仕事といえます。つまり、来年の商戦がスタートしたとうけとるべきで、潜在需要を顕在化するために、免許教室、点検サービスなどの販促活動を、しっかりと骨組みに沿って実施していかなければなりません。

ご商売に大切な人間関係の広がり

また、とくにこの時期に地域社会における人間関係を広め、たいせつに育てていくこと

が必要です。

バイクはその商品性や価格などからして、日用品必需品のようにただ良い商品を廉価で店頭並べておけば、お客さまが勝手に買ってもらえていく、といった商品ではありません。お客さまと販売店さまとの人間関係が商談成立に大きくかかわってきます。店頭販売ですらそうですから、訪問販売ともなれば、お客さまとなんらかの面識をもっておくことが必須の条件となります。そこで、常日頃から、商圏のひとりでも多くの方と顔見知りになり、おつき合いを持つておくことが必要となってくるわけですね。訪問販売をあまり積極的にしないお店は、しないのではなく、できないといった方が正解のようです。「どこへ行ったらいいかわからない」では困ります。これから冬場にかけては、いくら暇になるはず、この期間を利用して、地域社会における人間関係を広め、たいせつに育てていくことが大切です。

また、これに関連しますが、納車は附属品を付けたら、あとはお客さまが引き取りに来るのを待つ、というのではなく、できるかぎり、そのお客さまの家までお届けしたいものです。そうすることによってその家の家族構成も知ることができ、その後のおつき合いもしやすくなりますし、その家の人や、近所の

方々がいつかお店のお客さまとなるきっかけも生まれ、有力なオピニオンリーダーにまでなってくれる可能性もあるのです。

津軽人の気風あらため、もつと積極的な「売り込み」を

津軽人は昔から歴史と文化を重んじてきました。その気風はいまだに受け継がれていますが、文化を尊重する津軽人の良さは反面、「武士は喰わねど高揚子」的な見栄っ張りにもつながっているのではないのでしょうか。例えば、新規に免許を取得したお客さまに対し、トラックに新車を積んでの「訪問セールス」をするようお願いしていますが、実行してくれるお店が少ないのは、「お客さまが免許を取ったからといって、ガツガツと売り込みにきたと思われたら、店の沽券にかかわる」といった津軽人特有の気質が影響していると思われるかもしれません。しかし、みなさんは中古車を積んで「お買得品がありますよ」といったセールスはしていらっしゃいます。これからはぜひこれを新車でもしていただきたいと思えます。もちろん、販売店さまたちとわたくしどもの関係同様に、相手の都合を無視した「押しつけ」では逆効果ですが、お客さまたちは、良い商品をすすめられたことにきつと喜び、感謝の気持ちでむかえてくれることではないでしょうか。



「販売店さんとはいくら親しくなっても、礼儀を忘れず、店に入るときと、失礼するときにははじめをつけて挨拶するよう心がけています」

後継ぎの成長が たのもしこのごろです

もろ 師 たか子さん〔宮城県遠田郡田尻町・師輪店 師秀一氏夫人〕

「主人を助けて、部品の仕入れに、ご婦人客のお相手にと、懸命の毎日を過してきたか
いがある、いまは後継ぎのご子息が、立派にお
店の経営の支柱となり、初めてヤマハ原付免
許教室も主催。そのたのもし成長ぶりを喜
んでいるヤマハ奥さま。——宮城県遠田郡田
尻町の師たか子さんに登場いただきました。

田尻町は、古川市の東にあり、米作やタバ
コの栽培のさかんなところだ。

一、三年前から、バイクの普及がめざまし
く、いまは新しいメイトが嫁入り道具のひと
つになっているほど、女性の暮らしの中にも浸
透しています。

それだけに、たか子さんの活躍の場も多く、
ご主人に協力して、メイトやチャビィのお客
さまをぶやしてきました。

そのたか子さんにも、最近、かなりのゆ

とりができてきました。ご子息の孝悦さん(25
才)がお嫁さんをもらい、お店の仕事も孝悦
さんが中心になって切り回されるようになって
たからです。

孝悦さんには、秀一さんやたか子さんとは
違った商売のやり方があります。

たとえば、大量にチャビィを仕入れ、ヤマ
ハ原付免許教室を開いて、お客さまをぶやす
といった積極的なやり方です。

はじめは免許教室の開催に反対していたた
か子さんでしたが、これが成功してみると、
「やっぱり若い者はちがう」と、孝悦さんの
成長ぶりを見直したものでした。

師輪店さんにとつてのはじめの免許教室
は、ことしの八月二十二日、近くの大貴公民
館を借りて開かれました。

ヤマハの営業所があつて、マイクロバ
スを安くチャーターし、試験場まで送迎した

のも好評でした。

「免許教室に参加したお客さまは、とても
喜んでくれました。免許証が交付される前に
もうバイクを買ってくれた方もあるんですよ。

この辺では、自転車からバイクの時代へと移
つていますが、三十代、四十代だと、まだ免
許を持っていない人も多く、免許教室が歓迎
されました」

孝悦さんご夫妻の活躍で、若いお客さまも
ふえましたが「年輩のお客さまなどは、私や
父ちゃんがいないと、店の前を素通りしてい
つてしまう人もいます」ので、たかさんも、
お店の仕事から離れるわけにはいきません。

田尻町周辺も東北一帯をおそつた冷害の影
響をまぬがれませんが、これからは、電気製
品や家具など、他の耐久消費財と競合して、
どうやってバイクの需要を伸ばそうかと、師
輪店さんは対策を練っています。





ヤマハ発動機古川営業所長(左)を交えて、業界の情報を交換し合う孝悦さん、たか子さん、秀一さん



新築の自宅の前で盆栽の手入れをする、くつろぎのひととき

原付免許講習会と受験のご案内

原付免許の取得は、講習会を受講し、試験に合格する必要があります。本講習会は、初心者の方でも安心して受講いただけます。講習料は、講習料として1,000円（税込）です。

原付免許講習会

講習料 1,000円（税込）

講習時間 1日（午前9時～午後3時）

講習内容 原付の構造、運転方法、安全運転の心得、交通ルール、実地運転

講習場所 本講習会事務局（〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1）

お問い合わせ 03-3555-1111

原付免許試験センター（〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1）

試験料 2,000円（税込）

試験時間 午前9時～午後3時

試験内容 学科試験、実地試験

飾輪店

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

TEL 03-3555-1111

原付免許試験センター（〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1）

試験料 2,000円（税込）

試験時間 午前9時～午後3時

試験内容 学科試験、実地試験



ご主人の運転で、部品の仕入れに出掛けるたか子さん



NEWS * TOPICS

ニュースピックス

☎05383-2-1111 内線355
ヤマハ発動機PR課からのお知らせ



販売店みなさまのお声をより多く誌面に反映させるため、今号より写真のようなハガキを折り込みました。お店とヤマハを結ぶ定期便としてフルにご活用ください。内容は、ヤマハに関する話題、地方色豊かな行事、お店のご売場にまつわる実例からご意見、ご感想までどんなものでも結構です。ぜひお店のみなさまのお声のページを構成したいとも考えております。ふるってご参加ください。なお、従来どおり電話によるお声も伺っております。あわせてお気軽にご活用ください。ニュース内容によっては、編集部員が取材にお伺いいたします。

第4回・浜松市産業展示会

ヤマハ全車種を展示、PR効果あげる

【本社】市制が施行されて65周年を迎えた浜松市では、これを記念して、去る9月22日から26日まで、「第4回・浜松市産業展示会」を開催しましたが、ヤマハもこれに参加し、ヤマハバイク全車種を出品・展示し、そのPRにつとめました。

浜松市は「工業都市・浜松」と呼ばれるにふさわしく、静岡県下でも昔から工業、産業が発達したところで、とくにここ10年間の発展は目ざましく、製造品出荷額は4倍以上にも伸長しています。とくに、オートバイ産業、楽器産業は、その主軸といえる産業で、同市の発展にヤマハグループは大きく貢献しています。

浜松市総合展示館を会場に行なわれたこの展示会には、同市の産業を代表する約150社が各社の製品を展示、期間中は市内をはじめ、周辺の市町村から約九万人を超える入場者を集め、連日盛況でしたが、「ウエルカム・ツー・ヤマハ」のアーチに囲まれたヤマハコーナーにも多勢の人々が詰めかけました。

日頃からバイク産業、そしてバイクとは身近な人々が多いため、各車の細部にまで見入り、係員に専門的な説明を求める熱心な人が多く、ヤマハ車をより一層知ってもらった絶好の機会となりましたが、ヤマハでは、商品展示ばかりでなく、コーナーの随所に、安全運転を呼び掛ける「ネルボード」を掲示し、「安全運転の普及」にも積極的な姿勢をあらわし人々の共感をえました。

秋晴れのもと、
カーター大集合！

第一回オールジャパンカートレース

【スポーツランド菅生】今年の3月、ヤマハ・レッドアローRC100J、RC100S、およびカート専用エンジン、KT100Sが発売され、この春から夏、秋にかけて一段とカートの人気は高まっています。



これに伴い、SL杯カートレース選手権シリーズや全日本カート選手権に出場するカートターも急激に増えています。このようなカート熱の盛り上がりを反映して、9月18、19の両日、「第一回オールジャパンカートレース」が、「スポーツランド菅生」のカートコースで開かれました。この記念すべき「第一回オールジャパンカートレース」は、'76全日本カート選手権第5戦と併わせて行なわれたもので、日本各地はもとより香港からイギリス人カートターも出場、総数一〇〇台近いエントリーで極めて盛大な大会となりました。予選と第1ヒートが行なわれた1日目はぐずつき気味の天気でしたが、第2ヒート、ファイナルヒートの19日には、菅生の空は抜けるような青い秋空。この好天に観客も多数つめかけ、終日さわやかカーティングがくり広げられました。なお、11月7日には、この菅生で'76SLチャンピオンカートレースが行なわれます。

金谷 YZR750 雨の菅生に敵なし

終盤戦に入った'76全日本選手権シリーズのトップを切った九月十二日、第8戦が第6戦以来二カ月ぶりにスポーツランド菅生ロードコースで行なわれた。

タイトルの話題がパドックをにぎわし、注目のジュニア/エキスパート350cc以上レースには今季シリーズ初登場の金谷秀夫がYZR750を駆って参加するとあって、観衆の出足も好調。西日本を襲った台風17号の影響で激しい雨足がコースを叩くのが、ただひとつ悔まれるところであった。

さて、十四台のマシンがスタートラインに並んだメインレース、ジュニア/エキスパ

ヤマハニュース専用ファイルが完成しました。ぜひぜひご利用ください。

お店のみならず、ご要望をいただいていたヤマハニュース専用ファイルが完成しました。年間分、12冊がとじ込め、お店の資料としての保管やお客さまへの閲覧にも、長期間きれいにお使いいただけます。お店でも、どうぞご利用ください。



雨の中にも、「世界のカナヤ」の速さをまざまざと見せた金谷とYZR750

ト350cc以上は、降りしきる雨の中で三〇周にわたり争われた。注目の金谷はサードポジションからのスタート。ポールポジションからはスズキ500の安良岡健。しかし、金谷はスタートよくトップにおどり出、快調にレースをリード、スタートで大きく遅れた安良岡が二周目に一気に2位へ、上野慎一、佐藤順造、大島孝治らのTZ350勢がこれにつづく。

激しい雨の中、一分八秒という驚異的なタイムでひた走る金谷は四周目第一コーナーで大きくフラレ、この間をついて安良岡がトップに進出。しかし、これもわずか一周で再び金谷がトップの座を奪いかえし、金谷はラップを重ねる毎に、周遅れを生み出し、ついに三位以下をすべてラップするという速さで、雨の中かたずをのんで見守る多くの観衆の声援に応えた。

全日本選手権第9戦、筑波ロードレース大会

TZ750 浅見貞男、コースレコード 樹立して圧勝 E750

シリーズの焦点、最終戦、日本グランプリを二週間後に控えた九月二十六日、第9戦は絶好のコンディションに恵まれた筑波サーキ

ットで行なわれた。

曇天、無風というこの好条件にメインレース・エキスパート350/750ccクラスは、公式予選から早くも沸きあがった。というのも、ヤマハTZ750を駆る浅見貞男が、一分〇三秒四のコースレコードをマークして話題をさらったためだ。ちょうど一年ぶりカワサキKR750の持つレコードの更新である。

また、同350ccクラスでも世界GPから帰国したばかりのTZ350の根本健が、スズキ500の



安良岡を上回る好タイムをマークして注目を集めた。そして迎えた十八週の決勝レースはスズキワークス500の岩崎勝をトップに一団となつて第一コーナーへ。根本、安良岡、浅見とつづく。

二周目に入り好調の浅見は三位へ、四周目に二位、スタンドの観衆の注目を集める岩崎と浅見の追撃戦は中盤までつづいた。しかし、八周目、キャリアで勝る浅見は、第一コーナーで一瞬アウトにはらんだ岩崎のインを突いて勝負を決め、後半は豪快なコーナー突入を見せながら序々に二位以下の差を広げて圧勝した。また排気量のハンデを押して安良岡と激しい三位争いを演じた根本も健闘よく総合三位、350ccクラス今季二勝目をマークした。

ご注意

最近、側車(サイドカー)付きの二輪車がふえています。中には必要な手続きを行なわないまま道路を走行しているケースもありますので、お客さまに注意してあげてください。

- ①側車を組立てて二輪車に取付けるためには、陸運事務所にて改造自動車等届出書に、規定のデータ等を添えて、審査を申請しなければなりません。
- ②道路運送車輛法の規定により、一五cc以下の原動機付自転車に側車を付ける場合は軽自動車としての取扱いを受けます。

東京モーターショーの興奮を誌上に展開

自動車ガイドブック '76' '77発売中

二年毎の開催となった「東京モーターショー」残念ながら今年には開催年度に当っておりません。そこで主催団体である社団法人・日本自動車振興会は、国産車の普及促進のために、例年モーターショー公刊書として発行の「自動車ガイドブック」を、休年度も継続発行することとなりました。

オイルショック以来、順調な回復を見せる'76年から'77年の自動車、二輪車産業の全容を網らした'76'77年版は、もつと全国の書店、国鉄駅売店で発売中です。

自動車ガイドブック
VOL.23
76+77

7600

冬場に多い夜間の事故から お客さまを守ろう

お店のお客さまが交通事故に遭われる。販売店のみならずには何とも気の重いことです。こんなことの決してないように、日頃からお客さまへの安全運転指導も、大切な店の業務となってくるのですが、これからの時期は特に夜間の使用が多いお客さまへの指導に心がけてください。

というのも、昨年度のデータでも、昼間つまり日の出から日没までの方が、夜・日没から日の出までよりも交通事故の発生件数は多いにもかかわらず、死亡事故件数はほぼ同じ割合になっているからです。つまりただ夜間事故の方が死亡率が高いということ。それも、12月を中心に10月から3月まで、いわゆる冬期の夜間の発生率が高くなっています。冬は夜が長いから……といってしまうはそれまでですが、原因の最も大きなものは衝突とはね飛ばし。やはり夜間は、運転者の注意力もにぶり、判断や処置も遅れるためでしょう。

特に、これから12月、1月にかけては周囲もあわただしさを増し、日没後も走りまわらなくてはならないお客さまもグンと多くなります。視認性の高い明るい服装で、お客さま自身を守るとともに、どんな時にも落ち着いた運転を心掛けるよう特にご指導ください。「あわてずに、ゆっくり行けヨ」お店のみならず、何気ないこんなひと言が、事故からお客さまを守る大きな力となるのです。

小さな巨人、高井は、小柄な体でYZR750を巧みに操り、栄光のGP制覇にむかっている。



全日本選手権第10戦
第13回日本グランプリロードレース大会

YZR750、高井、金谷で
ワン・ツー

ヤマハ車勢大活躍で「GP」を飾る

シリーズの悼尾を飾る第10戦・第13回日本
グランプリロードレース大会は、十月九日、

E750

十日の両日、三重県鈴鹿サーキットで行なわれた。年間ランキングもさることながら国内トップエキスパート勢が総登場するのはこのグランプリだけとあってモータースポーツファンの大きな期待を集めた大会となった。

二日目、抜けるような青空のもと、二万五千人の大観衆を前にスタートを迎えたメインレース、エキスパート350/750クラス。焦点はもちろん金谷秀夫、高井幾次郎の駆る二台のヤマハワークスYZR750、そしてこのGP一本に絞って登場の三台のカワサキワークスKR750のくりひろげる熱戦。

いずれも、今季鈴鹿は初登場、前日の雨の予選では金谷が最高ラップをマークしてポールポジション、毛利良一、根本健、佐藤順造らのTZ350勢が第一列を占め、高井は第三列目からのスタート。

午後二時、シグナル青とともに金谷が好スタートを切ってトップへ、しかし三周目、それまでタイヤ状況を見ながら三位、二位と上がっていた高井が代って首位に進出。二台のYZR750のランデブーが開始された。そして平均ラップ二分二十二秒台のハイペースで周回を重ねる高井、金谷のヤマハペアは、ラップ毎に三位以下を大きく引き離し、17周をクリアーして圧勝、みごとなワン・ツーフィニッシュを達成した。また、前日のハイライト、エキスパート250ccでは、雨の中TZ250の毛利良一が健闘、三台のカワサキワークス250を振り切ってみごとな優勝を飾った。

カートに、トライアルに

注目のビッグイベントが相つぐ11月の菅生



11月、秋もめっきり深まったスポーツランド菅生では、今シーズンの悼尾を飾るモータースポーツのふたつのビッグイベントが開催されます。

まず、6日、7日の両日は「'76SLチャンピオンカートレース」。日本のカートレースの推進役を果してもり上がるSLカートレースシリーズのメインイベントです。

そして、21日には第4回を迎える「全日本選手権トライアル大会」が、菅生の大自然を舞台に展開されます。

トライアルでは今シーズン、唯一の全国大会。それだけにトライアル仲間の意気も大いに高まっています。

さあ、スポーツの秋のしめくりに、カートに、トライアルに、モータースポーツ指向のお客さまをどうぞご案内ください。

※12月1日より'77年2月末日まで、スポーツランド菅生は施設拡充工事のため営業活動を停止します。新しく、さらに大きく生まれかわる'77年の菅生に、どうぞご期待ください。

11月のスポーツランド菅生

★30日まで リング狩り (菅生リング園)

- 6～7日 '76SLチャンピオンカートレース
- 14日 SCCプロダクションロードレース
- 21日 第4回全日本選手権トライアル大会
- 23日 SLカート教室
- 28日 第3回モトクロス耐久レース



菅生
スポーツランド
SUGO

〒989-14 宮城県柴田郡
村田町菅生猪石
TEL 022483-3111

コンパクト
身軽で高出力
すべてに機能的なエコノミータイプ。

ヤマハ ポータブル ゼネレーター **ET1250E**

新発売



先にご案内の4サイクル高性能エンジン使用のヤマハ・ゼネレーターEF1500について、定評の2サイクル・ヤマハMT-110エンジン装備の『ポータブル・ゼネレーターET1250E』が新発売となりました。その名のとおり軽量、小型設計でしかも高出力。2サイクルですから傾斜地での使用にも潤滑不足の心配もなく、抜群の経済性で、産業用から一般家庭のレジャー用まで、きわめて幅広い用途に対応できる商品です。

●経済性と機能性を追求した「ET1250E」の7つのポイント

- ①持ち運び、調整もろくな軽量小型設計。エンジンと発電機は直結タイプで、効率も耐久性も大巾にアップ。
- ②粘り強さで定評のヤマハMT-110エンジンは1250VAの高出力を発揮。ダイオード特殊回路（特許出願中）で、安定した電圧をコンスタントに保つ。
- ③満タン6.5ℓで約5時間のフル稼働を可能にする経済性。
- ④大型マフラーを採用し、排気騒音を減少。
- ⑤本体を上下側面四方から囲むフルパイプフレームで耐久性向上。
- ⑥運転中の振動は、ラバーマウントで効果的に吸収。
- ⑦リコイル式スターターで、どなたでも簡単に一発始動が可能。

●産業用から家庭用まで幅広い用途

- 土木建設作業——警告灯、照明器具、電動工具、ベルトコンベアなど小型モーター使用の各種作業、工作機械の電源に。
- 農林業・漁業・通信——刈払機、野菜(茶)摘機、保温機(養蚕、養鶏)、集魚灯、非常用船舶無線機などの電源、熱源に。
- 会社・家庭——停電などの緊急時の電源、野外催事の照明、キャンプなどの電源に。

ET1250E主要諸元

発 電	周波数(Hz)	50	60	エ ン ジ ン	エンジン形式	2サイクル空冷エンジン
	定格出力(KVA)	1.05	1.25		総排気量(cc)	106
	定格電圧(V)	100			最大出力(PS/rpm)	4.3/5,000
	定格電流(A)	10.5	12.5		使用燃料	混合ガソリン(25:1)
機 力	定格回転数(rpm)	3,000	3,600	シ ン	燃料タンク容量(ℓ)	6.5
	励磁方式	自己励磁方式			燃費	満タン約5時間
駆 動	力率	1.0		重量(kg)	38.5	
	駆動方式	直結		寸法(全長×全巾×全高)	573×381×454mm	

★仕様は予告なく変更する場合があります。



ご利用ください
新しい「ヤマハ・キャップ」が
できました。

お客さまとの応待を明るく、さわやかに印象づけるニューデザインの「ヤマハ・キャップ」が完成しました。ご注文は担当セールスマンにお申しつけのうえ、日頃のご商売の際にぜひご愛用ください。

シルバーグレイのプジョー、峻烈に登場。

プジョー・ロードレーサー3機種が、さらにとぎすまされてモデルチェンジ。

PX10LEJ(旧PX10E)、PR10LJ(旧PR10)は、1975年ツール・ド・フランス優勝のあの栄光のシルバーグレイ。J10J(旧J10)は、ハイグレードを示す剣先メッキ。まさにプジョーの風格です。

設計・構成が入念に行われたことは言うまでもありません。サイクリストのレベルを想定して、設定されたギヤ比。パーツでは、PR10LJのFディレラーがシンタになって切れ味を増し、チェーンホイールもニュータイプのストロングライト49。J10Jでは、ディレラーがニュータイプのサンプレックス・プレステージに。そして、バーテープは

3車とも接着力、握りのよさでは定評のペロックスに。これはもはやモデルチェンジというより新機種の登場です。プジョーの自転車に対する熱意が実現させたのです。

プジョーの<ロードレーサー>、<スポーツ>は、この3種機を含めて全部で10機種。すべて一貫した合理的で厳しいプジョーイズムに貫かれています。そして、90年の歴史と伝統が生みだした言葉や数字では表わせなく味が、ここにはあります。

プジョーならではの走行感、これは真のサイクリストのみが知る素晴らしい走りの世界の創造です。

プジョー、フランスに生まれ、そして育った自転車。



●フレーム：540mmレイノルズ531フルセット・ダブルバット ●Fディレラー：サンプレックス<スーパーコンペティション> ●Rディレラー：サンプレックス<クリテリウム> ●チェーンホイール：ストロングライト93(53-42T) L=170mm ●フリー：5speedシクロコンペティション(14-15-17-19-21T) ●チェーン：セディス ●リム：スーパーチャンピオン<コンペティション>36穴 ●ハブ：マイヨール700プジョーロフイー-LFQR ●タイヤ：ウォルバー<プジョープロフェッショナル>700-28C チューブラー ●ペダル：レオタード65コンペティション ●ハンドルバー：フィリップ突出し90mm ●サドル：ブルックス<プロフェッショナル> ●シートポスト：サンプレックス・ヒューペルライダー ●ブレーキ：マファック<コンペティション>センタープル ●インフレーター：アドホック・スーパー ●カラー：シルバーグレイ



●フレーム：540mmレイノルズ531メインチューブ ●Fディレラー：サンプレックス<スーパーコンペティション> ●Rディレラー：サンプレックス<クリテリウム> ●チェーンホイール：ストロングライト49(52-42T) L=170mm ●フリー：5speedアトム(14-17-19-21-24T) ●チェーン：セディス ●リム：マビック・デポーシレコード36穴 ●ハブ：ノルマンディLFQR ●タイヤ：ウォルバー<プジョールート>700-28C チューブラー ●ペダル：レオタード45CA ●ハンドルバー：AVA、突出し80mm ●サドル：イテアル80 ●ブレーキ：マファック<レーサー>センタープル ●インフレーター：アドホック・スーパー ●カラー：シルバーグレイ



●フレーム：520mm ●Fディレラー：サンプレックス<プレステージ> ●Rディレラー：サンプレックス<プレステージ> ●チェーンホイール：(46-40T) ●フリー：5speed(14-16-18-20-23T) ●チェーン：セディス ●リム：リジダ・クロラックス36穴 ●ハブ：アトムSFWN ●タイヤ：ミシュランWO650-35A ●ペダル：レオタード165R ●サドル：ギヤレイ275 ●ブレーキ：マファック<レーサー>センタープル ●カラー：ホワイテ(剣先メッキ)

